

全校朝会「あれから1年」2/22

3学期もあと1ヶ月となりました。校庭には、梅やフキノトウなどが見られ、春の息吹を感じるが多くなってきました。

今日は、この1年間、ずっと続いているお話です。これです。1年前突然、学校が休校になりました。コロナのためです。手洗いやマスク、咳エチケット、ソーシャルディスタンス、不要不急の外出、旅行や外での食事もできなくなりました。緊急事態宣言が今も続いています。

今一番、苦しいことは、「これがいつまで続くのだろうか」「この先どうなってしまうのだろうか」という不安ではないかと思えます。人はどうして不安になのか？ コロナのように、先のことが分からない、正しい答えがわからないような時、私たちはものすごく不安になります。そして、不安になると色々な噂や嘘に惑わされ易くなります。

例えば、1年前、マスクやトイレットペーパーがお店からなくなりました。不安になって買い占めてしまったからです。中には店員さんを脅す人もいて、「ウイルスよりも人間が怖い」と、店員さんが疲れ切ってしまいました。コロナの不安から「自分さえよければ…」という考えでいっぱいになって、店員さんをととても不安にできてしまいました。

「自分さえよければ…」となってしまうと、例えば、これは渋滞している高速道路の写真ですが、よく見ると、一番左側が空いていて走れそうです。しかし、ここは路肩といって走ってはいけない場所です。この2車線しか走れません。しかし、遅刻が不安になり、「自分さえよければ…」と路肩を走った結果、事故を起こしてしまいました。

では、どうしたら「不安」を「安心」に変えられるでしょうか？それは、今お話しした「自分さえよければ…」という気持ちをなくすことです。誰かがマスクを多く買おうとするから、私も私もと、みんなが不安になってマスクがなくなります。誰かが路肩を走って先に行こうとするから、私も私もと不安になって路肩を走りたくなくなってしまいます。

学校の中でも同じです。一人一人が、相手が不安に思うようなことをしなければ、相手も自分も不安にならず、安心することができます。自分が安心するためには、相手を安心させることです。例えば、感染症予防。みんなが手洗いをして、マスクを着用し、給食のマナーなど、安全安心が守られています。授業中や休み時間も、自分さえよければ…、自分さえ楽しければ…ということがなく、相手の気持ちに立って行動しているのが、富士見丘小では、全員が楽しく過ごすことができるのです。

新型コロナウイルスの不安をなくすことは難しいことです。でも、みなさんならきっとできます。まずは、お友達の気持ちを考えて、お友達が不安にならず、安心できること、このことを続けていきましょう。

